

なつ休み

2



ぼくのはひまわり

岡崎 六名小・2

いとう けいすけ

ぼくの手のひらの小さなたね

おとうさんがくれたひまわりのたね

にわにうえていっぱい水をあげた

早くめを出さないかな

しゃがんで見つけたひまわりのふたば

どんどん大きくなれ

ぼくのおへそと同じ高さ

もつともつと大きくなれ

ぼくの頭と同じ高さ

ぐんぐん大きくなれ

となりの家のやねもおいこした

ありがとうのひまわりで早のぼりきょう

そうをしている

はっぱの上ではクモがおうえんしている

くまんバチがゴールでみつをすっている

のっぽひまわり

お日さまさがしてきよろきよろ

ずつとお日さまさがしてる

お日さま見つけてごあいさつ

花もはっぱも大きくなつて

こんどはぼくにおじぎした

ぼくは見上げて

ひまわりと青空にごあいさつ

どうどうとさくぼくのはひまわり

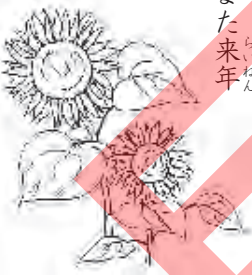
ぼくもすくつとせすじをのばしてむねを

はる

ぼくの手のひらではもちきれない

おとうさんがくれたひまわりのたね

ぼくのはひまわり また来年



文詩集『みかわの子』第61号より

おうちのかたへ

子供たちが、待ちに待った夏休みに
なりました。

長期の休みでなければ手がけること
のできない継続観察などの貴重な体験
は、おうちの方々の適切な助言や心づ
かいによって、いっそう効果を高める
ことができます。

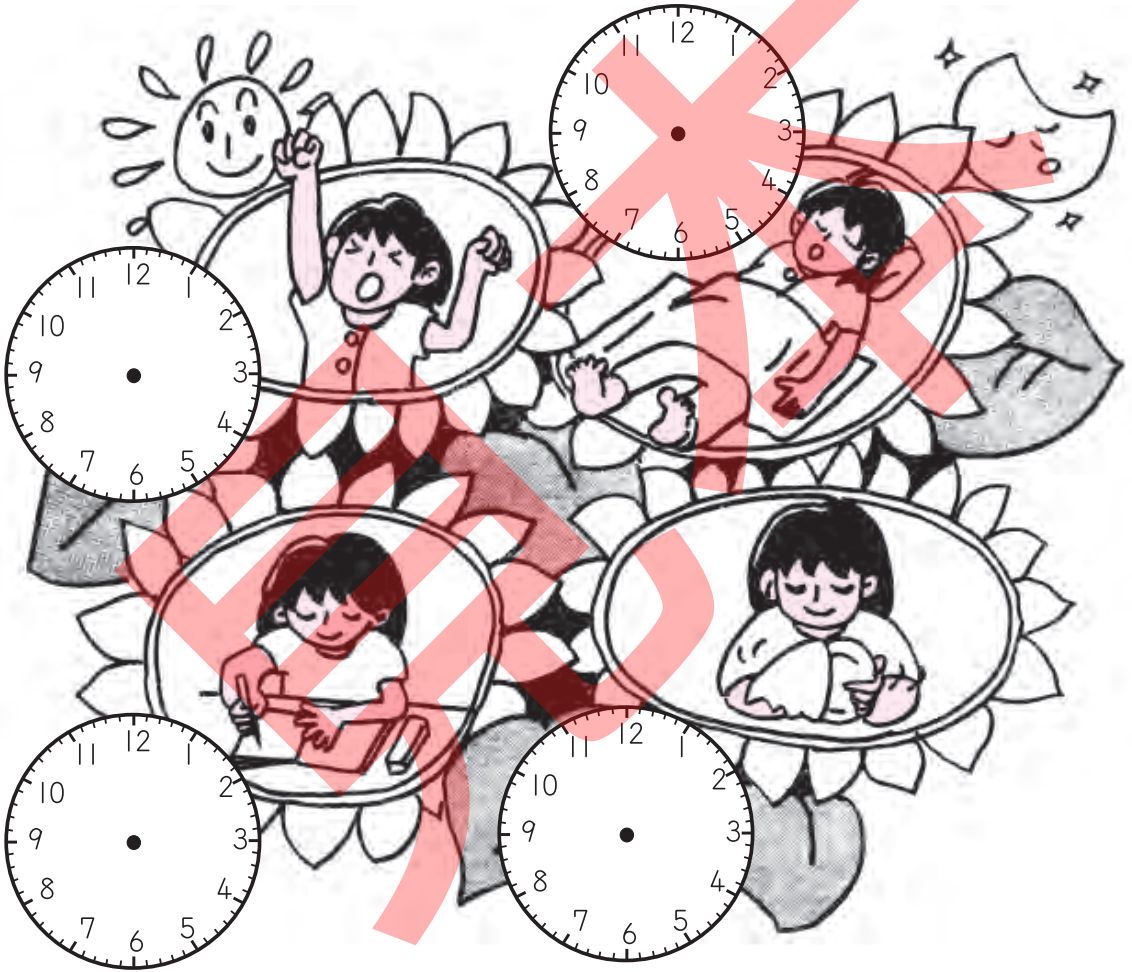
無理のない計画を立て、夏休みの過
ごし方を親子で一緒に考えてください。

表紙の絵は、令和五年度「み
かわ彩発見絵画コンクール（春・
夏の部）」最優秀賞豊川市立豊
小学校二年大藪璃座さんの作品
「ともだちとなつのおしとりし
たよ」です。

たの
楽しい、なつ休み

いよいよ きょうから なつ休みです。楽しい なつ休みにするために、きそく正しい 生活を しましょう。

★ あなたの 一日の 生活を とけいに 書き入れましょう。



★ なつ休みに がんばりたい めあてを 書きましょう。

《学しゅう》

《生活》

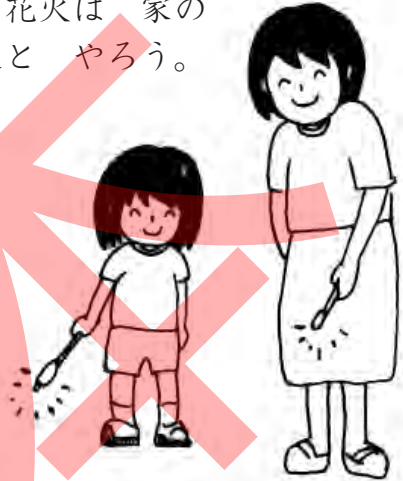
なつ休みの生かす

※読んだら □に ○を つけましょう。

こうつうルールを
まもろう。

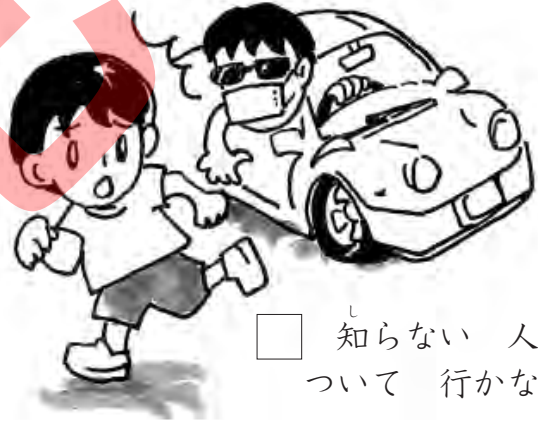


花火は 家の
人と やろう。



ゲームは 時間を
きめて やろう。

食べすぎ
のみすぎに
気をつけ
よう。



知らない 人に
ついて 行かない。



休み中に びょう気や けがを すると、
たの 楽しく ありませんね。上の ことに
気をつけ、たの 楽しい なつ休みに しま
しょう。



かん字の読みよう

よう日一 おくりがなに 気をつけて、（れい）の
 ように かん字に なおしましょう。

（れい）
よむ ……………

読
む

(1) あたる ……………

(2) わける ……………

(3) たかい ……………

(4) すくない ……………

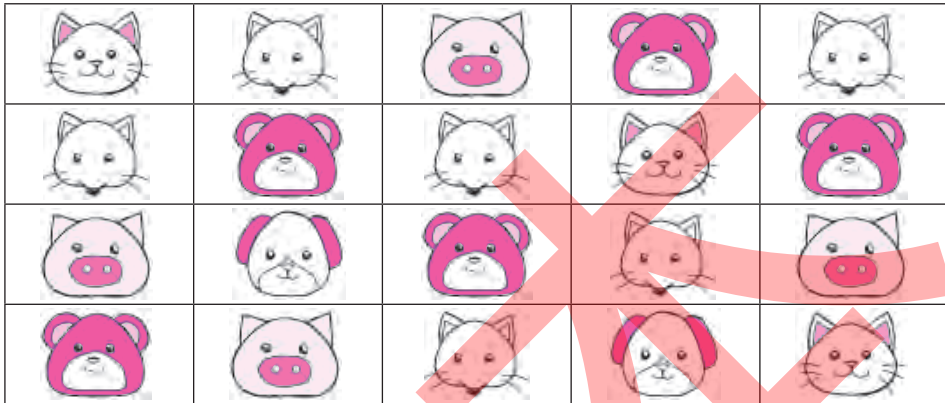
--	--	--	--	--

二 かん字の 読みを 書きましょう。

- | | | | | | |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| (11) | (9) | (7) | (5) | (3) | (1) |
| 教科書 | 大人 | 元気 | 学校 | 点線 | 人間 |
| (12) | (10) | (8) | (6) | (4) | (2) |
| 空気 | 女子 | 一日中 | 正月 | 上手 | 画面数 |

どうぶつしらべ

どうぶつの 数を しらべました。



1 どうぶつの 数を ひょうに かきましょう。

どうぶつの 数

どうぶつ の 名前	ねこ	ぶた	いぬ	きつね	くま
数(ひき)					

2 右の グラフの マス目に

● を 書き入れましょう。

3 いちばん 多かった どうぶつは どれですか。

どうぶつの 数

ね	ぶ	い	き	く
こ	た	ぬ	つ	ま
			ね	

ことばさがし

<さがしかた>

- 下の ことばが ひょうの 中に かくれて います。
- たて, よこ, ななめに, まっすぐ ならんで います。
- 下から 上に 読んだり, 右から 左に 読んだり する 場あいも あります。
- 同じ 字を つかう ことも あります。
- かくれて いる ことばを すきな 色で ぬりましょう。
- つかわなかった 字を ならべかえると また ことばが できます。

<かくれて いる ことば>

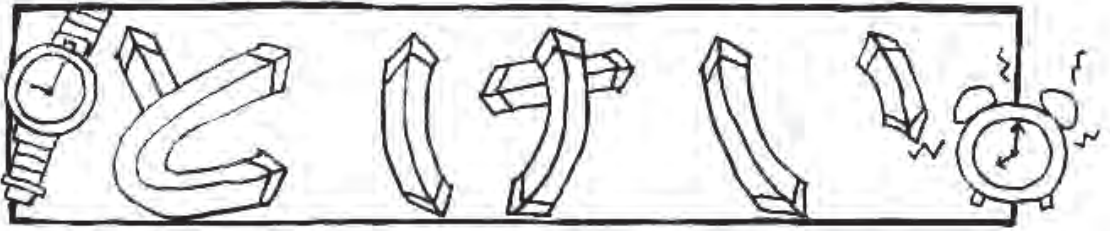
アゲハ アリ カミキリ カナブン
カブト ハチ コオロギ トンボ



ハ	チ	タ	ギ	ン
ゲ	ガ	ロ	ブ	リ
ア	オ	ナ	ア	キ
コ	カ	ワ	ク	ミ
ボ	ン	ト	ブ	カ

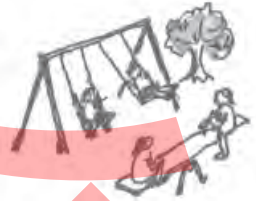
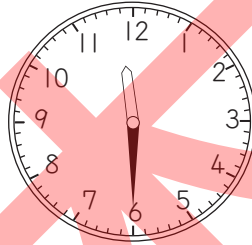
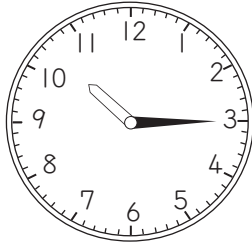


つかわなかった 字を ならべかえて できる ことば
()



1 ゆうくんは こうえんに 出かけました。とけいを見て つぎの もんだいに こたえましょう。

(家を 出た 時こく) (こうえんに ついた 時こく) (家に ついた 時こく)



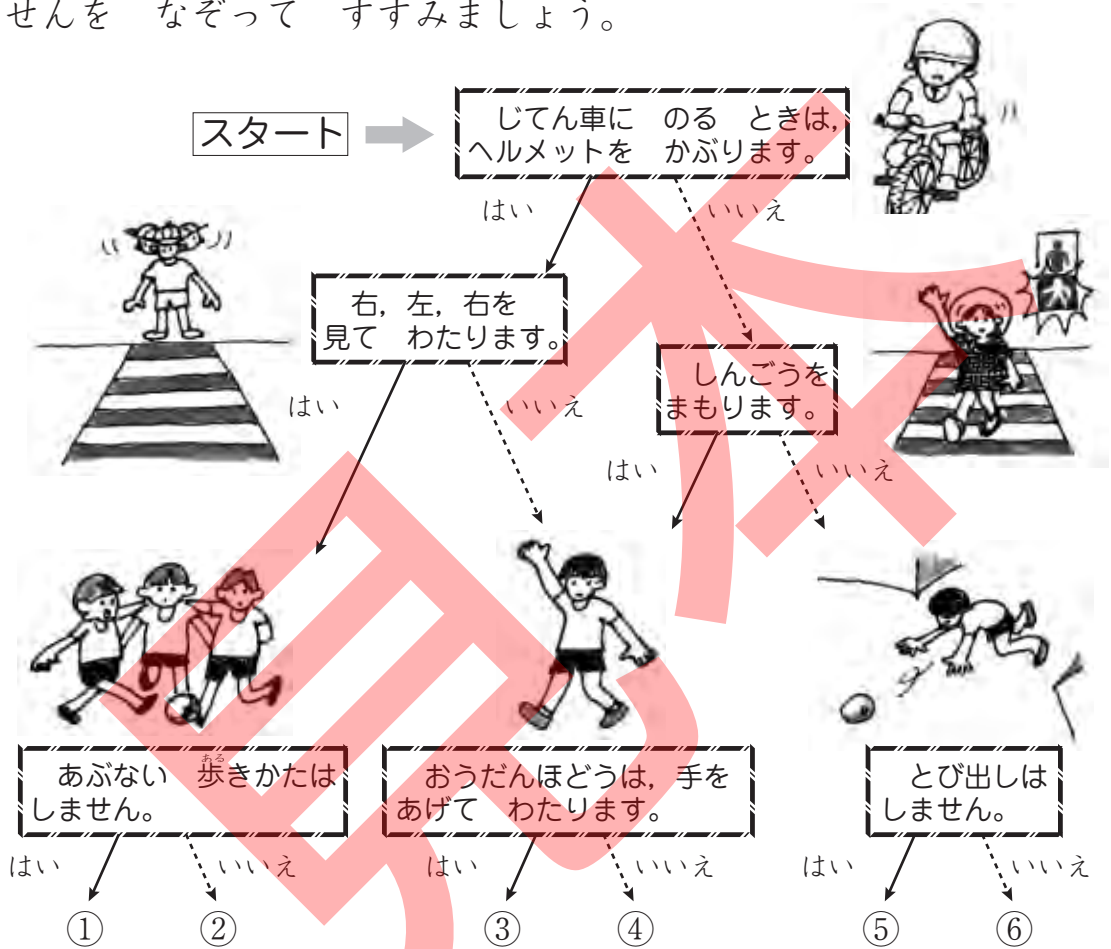
- (1) 家を 出た 時こく ()
- (2) こうえんに ついた 時こく ()
- (3) 家を出てから こうえんに つくまでの 時間 ()
- (4) 家に ついた 時こく ()
- (5) 家に ついた 時こくの 30分 あとの 時こく ()

2 に あてはまる 数を 書きましょう。

- (1) 1時間は 分です。
- (2) 1日は 時間です。
- (3) 午前は 時間, 午後は 時間です。

きみはだいじょうぶ？

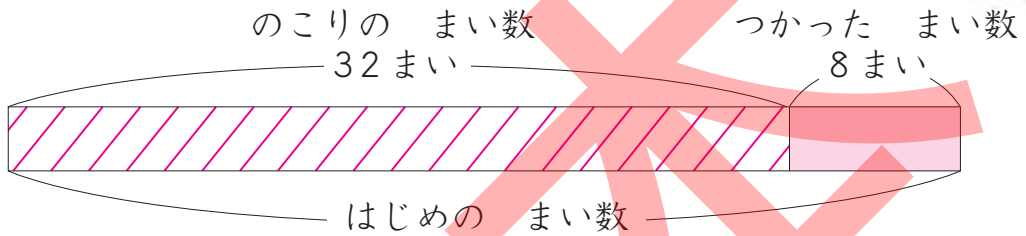
スタートから はじめて、「はい」「いいえ」の やじるして せんを なぞって すすみましょう。



①	すばらしい！ いつも この ちょうしで こうつうルールを まもろうね。
②	こうつうルールを まもって いるね。でも、車は こわいので ゆだんを しないでね。
③	だいたい いいね。じぶんの 目で 車が こないか たしかめてね。
④	歩いて いる ときも ゆだんを しない。どうろを わたる ときは とくに ちゅうい。
⑤	しんごうは かならず まもろう。青しんごうでも 気をつけて わたろう。
⑥	しんぱいだね。気をつけないと 車と ぶつかっちゃうぞ。

たし算かな ひき算かな

1 色がみを なんまいか もって いました。そのうち 8まい
 つかったの で のこりは 32まいに なりました。
 はじめは なんまい あったでしょう。



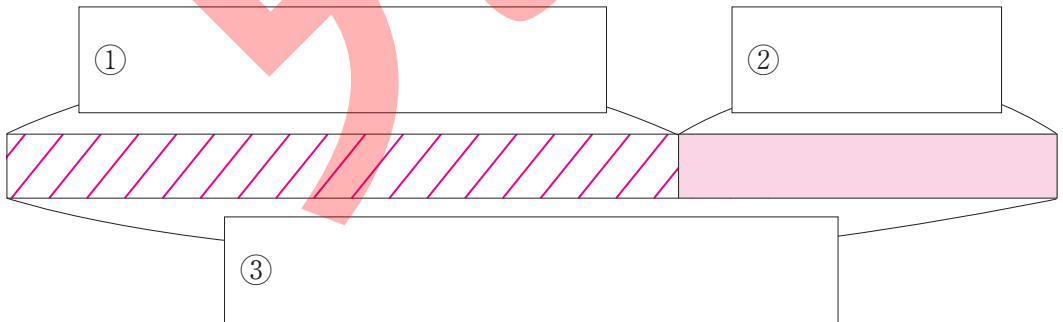
(しき)

こたえ

2 こうえんで、子どもが 13人 あそんで
 いました。そこへ 友だちが 来たので、
 みんなで 22人に なりました。
 あとから なん人 来たでしょう。



(1) 図に かいて かんがえましょう。




(2) 図から しきを たて こたえを もとめましょう。

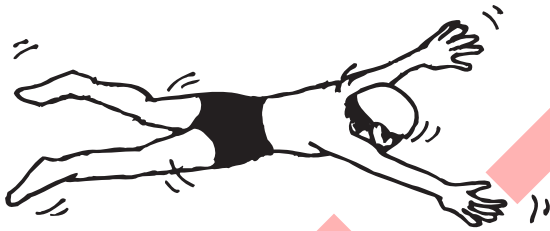
(しき)

こたえ

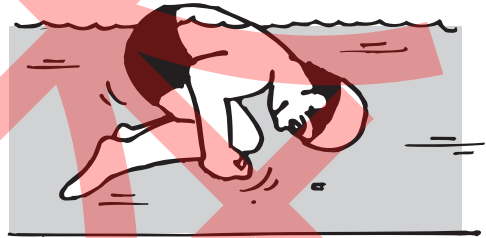
できるかな

プールで、下の えの ような 水あそびを してみましょう。
できたら、に すきな 色を ぬりましょう。

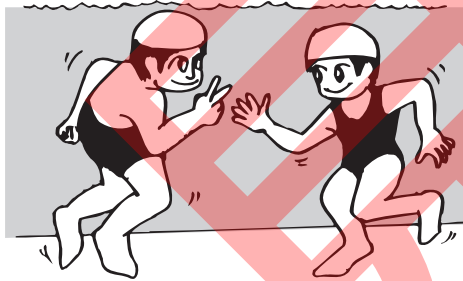
 大の字うき



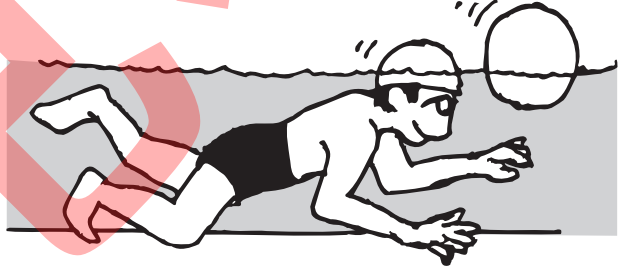
 だるまうき



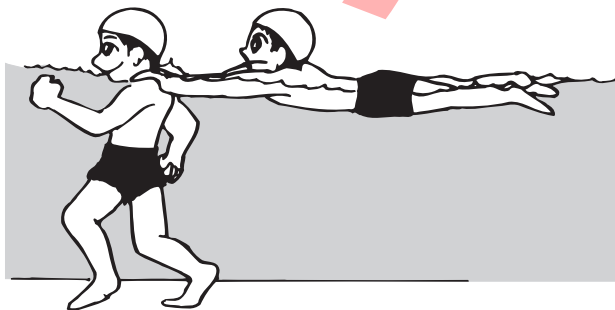
 水中じゃんけん



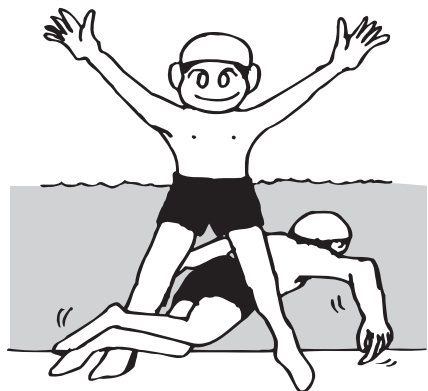
 水中ボールはこび
(おでこで ボールを はこぶ)



 水中きかん車



 水中トンネル



本を読もう



よう日

日

月

長い なつ休みは、本を 読む よい とき
 かいです。読書は、心の えいようと 言わ
 れます。みなさんの からだが、たくさん
 食べる ことで 大きく なるように、たく
 さん 本を 読めば、それだけ 心が ゆた
 かに なるからです。

学校の 図書室としよつや、ちかくの 図書としよかんに
 出かけて、じぶんが 気に 入った 本を
 かりて、読んで みましよう。気に 入った
 本が 見つからない ときは、友だちや お
 にいさん おねえさんに 聞いて みるのも
 よいですね。

☆ 二年生に おすすめの本

○「くまの子 ウーフ」(ポプラ社)

かんざわ としこ 作さく
 いのうえ ようすけ え

○「おとうさん・パパ・おとうちゃん」(鈴木出版)

みやにし たつや 作さく・え

○「きかんしゃ やえもん」(岩波書店)

あがわ ひろゆき 文
 おかべ ふゆひこ え

○「おつきよちゃんと かつぱ」(福音館書店)

はせがわ せつこ 文
 ふりや なな え

月 日 よう日

わたしのすけめる本

☆ 心に のこって いる ところを えと 文で かきましょう。
(りゆうも かきましょう。)

本の名前



かたかなでかろ

よう日

一 つぎの ひらがなを かたかなに なおして 書きましょう。

(1) こ お ひ い (2) り ゆ つ く さ つ く

(3) ち ゆ う り つ ぶ (4) こ っ ぶ

(5) て え ぶ る (6) ほ っ と け え き



『ことばのきまり P10』
「かたかなで書くことば」
チャレンジしてみよう。



二 () の ことばを たくさん あつめ

て、□ の 中 に かたかなで 書きましょ
う。

(1) (どうぶつの

鳴き声)



(2) (ものの 音)



(3)

(外国からきたことば)



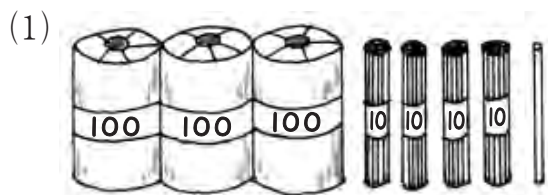
(4)

(外国の 国名・地名)

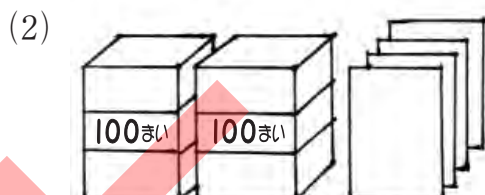


1000までの数 (1)

1 ぜんぶで いくつでしょう。



本



まい

2 つぎの 数を 書きましょう。

(1) 10を 42こ あつめた 数。

(2) 999の つぎの 数。

3 に あてはまる 数を 書きましょう。

(1) 500 - - 700 - 800 - - 1000

(2) 975 - 980 - - 990 - 995 -

(3) 1000 - - 998 - 997 - - 995

4 2つの 数を くらべて, >か <を つかって しきに 書きましょう。

(1) 235 207

(2) 780 782

あけみちがき

一 お手本を見て、れんしゅうをしましょう。

		「
		こ
		ん
		に
		ち
		は
		」。

二 えに あう ように 点(・)をつけましょう。

・ ここではきものをぬいでください。



三 つぎの文に丸(○)をつけましょう。

きのう、友だちと こうえんに 行きま
した たくさん あそんだ あと、おべんと
うを たべました とても
おいしかったです かえる
とちゅうで えりちゃんが、
「また いっしょに 行きたいね」
と 言っていました



四 つぎの文に かぎ(「」)をつけま
しょう。

あけみちちゃんが、スイミー という

本を 読んでいました。そこで、わたしは、

おもしろそう。かりて いい。

と ききました。すると、あけみちは、

いいよ。

と 言って かしてくれました。

月 日 よう日



えを 見て、会話を つかった お話を
書きましよう。会話は、かぎ(「」)を
つけて、行を かえて 書きましよう。

〈れい〉

あら、
じしんかしら。



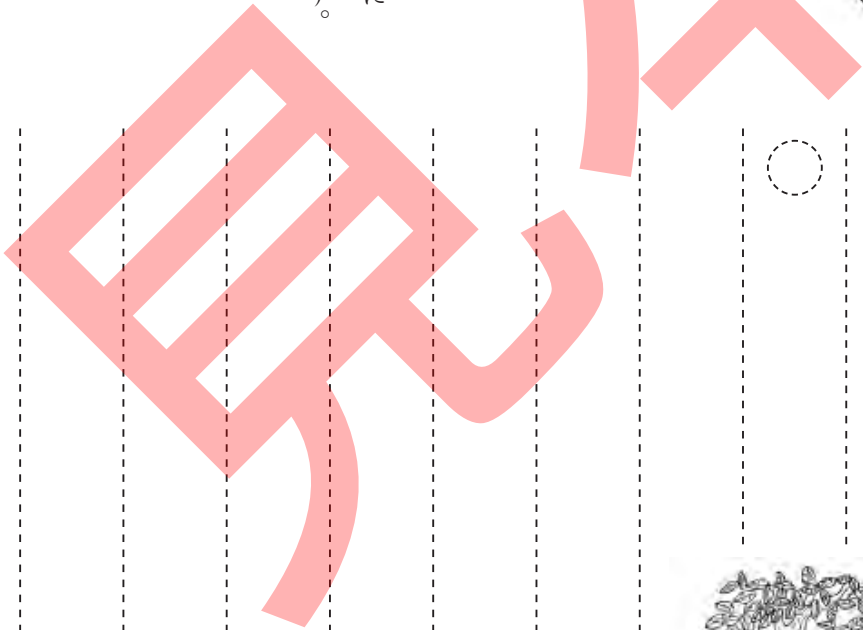
おかあさん

だれが
言ったか
分かるように
書きましよう。

○日よう日に、ひるごはんを たべて
いるときに、

「あら、じしんかしら。」

と、おかあさんが 言いました。



がんばってね。



ともだち

月 日 よう日

エ ス デ ィ ー ジ ー ズ



SDGs (エス・ディー・ジーズ) という ことばを していますか？

SDGs とは

「じぞく かのうな かいはつ 目ひょう」

の ことです。みんなが ずっと 地きゅうで くらして いく ことが できるように 17この 目ひょうが あります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



つぎの ことを 家で やって みよう。できたら ○に 色を ぬろう。

のこさず たべよう。

水を 大せつに つかおう。

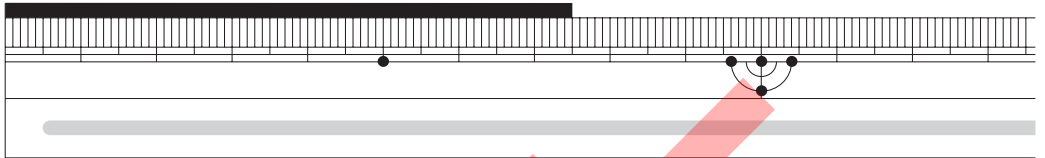


つかわない ときは でん気を けそう。





1 下の ^{せん}線の ^{なが}長さは ^{なん}何cm ^{なん}何mmですか。



cm mm

2 つぎの ^{せん}線の ^{なが}長さを はかりましょう。



3 に あてはまる 数を 書きましょう。

- (1) $5\text{ cm} = \text{ mm}$
- (2) $80\text{ mm} = \text{ cm}$
- (3) $3\text{ cm } 1\text{ mm} = \text{ mm}$
- (4) $69\text{ mm} = \text{ cm } \text{ mm}$
- (5) $4\text{ cm } 3\text{ mm} + 3\text{ cm} = \text{ cm } \text{ mm}$
- (6) $8\text{ cm } 5\text{ mm} - 2\text{ cm} = \text{ cm } \text{ mm}$
- (7) $6\text{ cm } 3\text{ mm} + 7\text{ mm} = \text{ cm}$
- (8) $7\text{ cm } 6\text{ mm} - 6\text{ mm} = \text{ cm}$




やさいの花をしらべよう

ナスには、むらさき色の かわいい 花が さきます。オクラには、黄色の きれいな 花が さきます。

やさいの 花は、その しゅるいによって かたちや 色がちがいます。

やさいの 花を かんさつ したり、かんなどで しらべたりして、かたちを よく 見て かいて みましょう。かけたら 色も ぬりましょう。

(ナ ス)	()
	
()	()

計算 しましゅう

1 1年生の ふくしゅうを しましゅう。

(1) $5+7$

(2) $9+4$

(3) $8+2$

(4) $12-7$

(5) $17-9$

(6) $15-6$

(7) $5+6+3$

(8) $10-7-1$

(9) $10-4+6$

2 なつ休み前までの ふくしゅうを しましゅう。

(1) $45+5$

(2) $78+20$

(3) $60+80$

(4) $700+300$

(5) $69-8$

(6) $82-70$

(7) $120-50$

(8) $800-200$

てんぐにかしたうで

※¹ふたがわ
二川の 大岩寺に、たいそう 字の うま
い おしようさんが いた。

よう日
「よめに いった おすすめに、手紙を 書い
てくださらんか。」

「ああ、いいとも。」

日
「せがれに 字を おしえてくだされ。」

「ああ、いいとも。」

月
たのまれると ことわれない。なんでも
引きうける。だから、お寺には いつも 村
の 人が たずねてくる。

あるばん、ゆめの 中に てんぐが あら
われた。そして、おしようさんの うでを
ぎゅつと つかんで 言った。

「秋葉の 山から 来た。正月の 間だけ、
字の 上手な おまえの うでを かして
くれ。」

「ああ、いいとも。」

「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」
「あ、いいとも。」

そして、そのまま わすれてしまった。

正月二日、書きぞめの 日だ。

「明けまして おめでとうございます。」

村の 子どもたちが あつまってきた。

「おう おう。みんな 元気だな。おめでとう。」

「さあ、お手本を 書いてあげよう。」

おしようさんは、ふでを もった。ところが、
いつものように うまく 書けない。正月と
書くと、おとそで よっぱらったような 字
になっちゃった。

「こりや、いかな。もう 一まい。」

なんまい 書きなおしても、うでが 思う

ように うごかない。

「あつ。」

あの へんな ゆめを 思い出した。

(あの時、てんぐに うでを かしてやるっ

て 言ったんだ。あれは、このことだったの
ようか。)

そう 思うと、からだか、ぞくつと して、

あせが じわつと 出た。おしよさんは、

少し ふるえる 声で 言った。

「きようは、お手本 なしじゃ。のびのびと

書いて ごらん。」

「うん うん、みんな うまい。わしより

ずっと 上手じゃ。」

子どもたちは、なんだか

へんだと 思ったが、おし

ようさんに ほめられて、

よろこんで 帰っていった。

その夜、ゆめの 中に

てんぐが また あらわれ



た。

「おしよ、うでを かえしに きた。おま

えの うでの おかげで、わしは 書きぞ

めで 一番に なったぞ。」

てんぐは、高い はなを ぴくぴくさせな

がら、赤い顔を ますます 赤くして 言った。

「おれいに、これから ずっと、おまえの

書いたものは まもってやる。」

それから 何十年も たって、村で 大火

事が あった。

寺も すっかり やけてしまったが、おし

ようさんが 書いた 寺の がくだけは、も

えなかったということだ。

※1 二川の大岩寺：豊橋市大岩町にあるお寺

※2 おとそ：新年にのむお酒

※3 がく：書いたものなどを入れて、かべなどにかけておくもの
(おはなし あいちのでんせつ) ー

愛知県教育振興会より)

読みましたサイン



かん字を書こう

一次の (1) (3) に かんけいのあることばを かん字で 書きましょう。

<p>① □ む</p> <p>② □ く</p> <p>③ □ す</p>	<p>よ</p> <p>うごきを</p> <p>あらわす</p> <p>ことば</p>	<p>① □</p> <p>② □</p> <p>③ □</p> <p>④ □</p>	<p>あ</p> <p>お</p> <p>あ</p> <p>か</p> <p>し</p> <p>ろ</p> <p>き</p>	<p>(2) 色を</p> <p>あらわす</p> <p>ことば</p>	<p>① □</p> <p>② □</p> <p>③ □</p> <p>④ □</p>	<p>あ</p> <p>たま</p> <p>あ</p> <p>し</p> <p>て</p> <p>く</p> <p>ち</p>	<p>(1) からだに</p> <p>かんけいのあることば</p>
--	---	---	--	--------------------------------------	---	---	-----------------------------------

<p>(9) □ う</p> <p>(10) □ かたち</p> <p>(11) □ かぜ</p>	<p>おも</p> <p>かたち</p> <p>かぜ</p>	<p>(7) □ るい</p> <p>(8) □ い</p> <p>□ やま</p>	<p>あ</p> <p>か</p> <p>た</p> <p>か</p> <p>い</p> <p>やま</p>	<p>(5) □ い</p> <p>(6) □ る</p>	<p>ひ</p> <p>ろ</p> <p>そ</p> <p>ら</p> <p>ひ</p> <p>か</p> <p>る</p>	<p>(3) □ え</p> <p>(4) □ を</p> <p>ろす</p>	<p>こ</p> <p>た</p> <p>て</p> <p>を</p> <p>お</p>	<p>(1) □ に</p> <p>□ く</p> <p>(2) □ い</p>	<p>い</p> <p>え</p> <p>い</p> <p>く</p> <p>お</p> <p>お</p>
---	--------------------------------	--	--	---------------------------------------	--	---	--	--	---

二次の ことばを かん字で 書きましょう。

できるかな？

1 つぎの 計算を しましょう。

(1) $13 + 7$

(2) $39 + 1$

(3) $52 + 8$

(4) $60 - 5$

(5) $20 - 6$

(6) $90 - 2$

(7) $19 + 7$

(8) $36 + 8$

(9) $51 + 30$

(10) $21 - 3$

(11) $81 - 4$

(12) $93 - 80$

(13) $9 + 4 + 6$

(14) $5 - 2 + 8$

2 あめを 17こ もって います。
8こ たべると なんこに なりますか。

(しき)

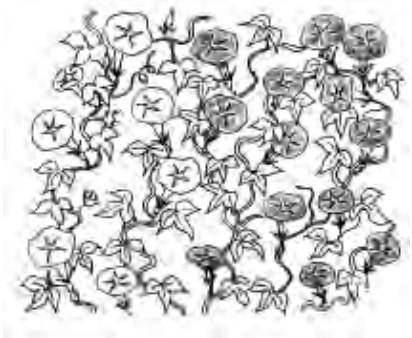


こたえ _____

3 赤い あさがおの 花が 13こ、
白い あさがおの 花は 7こ
さいて います。

赤い あさがおの 花の ほうが
白い あさがおの 花より なんこ
多いですか。

(しき)



こたえ _____

計算ぬり絵

つぎの 計算を して、下の えの こたえの ところを きめられた 色で ぬりましょう。正しく ぬると、たべものが うかび上がって くるよ。

(赤 色)

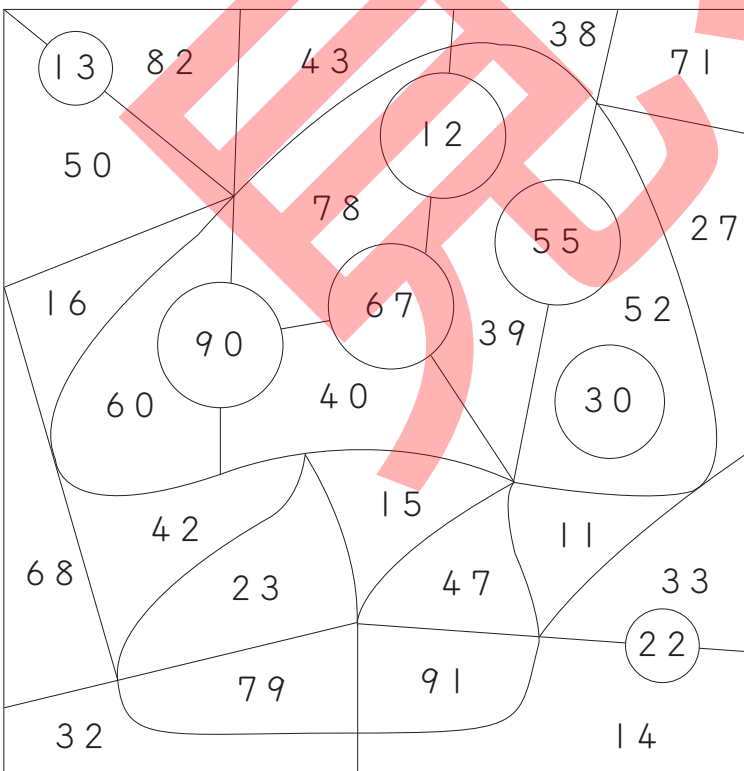
- $56 + 4$
- $33 + 6$
- $72 + 6$
- $57 - 5$
- $43 - 3$

(青 色)

- $23 + 7$
- $84 + 6$
- $20 - 8$
- $70 - 3$
- $60 - 5$

(黄 色)

- $17 + 6$
- $88 + 3$
- $22 - 7$
- $56 - 9$
- $86 - 7$



こたえ

まっ白になつたおじぞうさま

大須^{おおす}のある おてらに、白⁽¹⁾い かみ⁽¹⁾を はられた
まっ白い おじぞうさまが おかれています。びょう気を
を なおして もらおうと、かみを はって おまいり
するのです。

その むかし、⁽²⁾おとこと その むすめが すんで
いました。あるとき、むすめのおなかに できものが
できました。くすりに なる くさを とってきて、そ
のしるを ぬつても、ちつとも よく なりません。

それを 聞いた 和尚^{おしょう}さんは、おじぞうさまに 手を
合わせて いっしょうけんめい いのりしました。

すると、あるよる、和尚^{おしょう}さんの ゆめに おじぞうさま
まが あらわれて 言いました。

「むすめの わるい ところに まっ白い かみを あ
て、それを わたしの からだに はりなさい。そし
て、いっしんに いのりなさい。」

和尚^{おしょう}さんは さっそく 二人に つたえました。
⁽³⁾なんにちかして むすめの できものは きえました。

それから、⁽⁴⁾おおくの 人たちが おまいりするよう
になり、おじぞうさまは、からだ
じゆうが まっ白に なってしまった
という ことです。



〔おはなし あいちのでんせつ〕 2 愛知県教育振興会より

一 線(1)と(4)の ことばを かん字で 書
きましよう。おくりがなも 書きましよう。

(1)

(2)

(3)

(4)

二 むすめは どんな びょう気に なつた
でしよう。

三 和尚^{おしょう}さんの ゆめに あらわれたのは、
だれでしよう。

四 おじぞうさまの からだが 白いのは、
なぜでしよう。

月 日 よう日

生きもの大すき

はたけや のはら，川や いけなどには，いろいろな 生きもの
のが います。これらの 生きものを 見つけて えを かきま
しょう。また，色も ぬりましょう。

※川や いけには，おうちの 人と いっしょに 行きましょう。

※すずしい 時間に 行きましょう。



生きものの 名前

生きものの いた ばしょ

生きものの え



『NHK for School』
おぼけの学校たんけんたん
「かくれた生きものをさがそう」
を見てみよう。



1000までの数 (2)

1 数字で 書きましょう。

- (1) 三百七十八 (2) 八百二十 (3) 六百四

() () ()

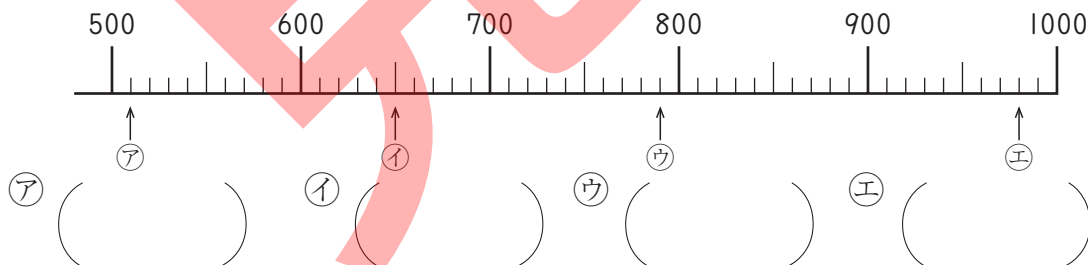
2 □に あてはまる 数を 書きましょう。

(1) 287は 100を □こ, 10を □こ, 1を □こ
あわせた 数です。

(2) 100を 10こ あつめた 数は □です。

(3) 320は 10を □こ あつめた 数です。

3 ㉠～㉤にあたる 数を 書きましょう。



4 あと いくつで 1000に なりますか。

- (1) 970 (2) 995 (3) 800

() () ()

かん字を讀みまじり

一 一にている ところの ある かん字です。

—線の 讀みを 書きましよう。

(1)

聞 間

話を 聞く。
休みの 間

(2)

教 数

教えてもらう。
ボールの 数

(3)

丸 九

丸を かく。
九ひきの かえる

(4)

読 話

本を 読む。
話を 聞く。

() () () () () () () ()

二 讀み方の ちがう おなじ かん字です。

—線の 讀みを 書きましよう。

(1)

小さい おうち
小犬が あそぶ。
小学二年生

(2)

正しい 文字
正月

(3)

元気な 子ども
火の元

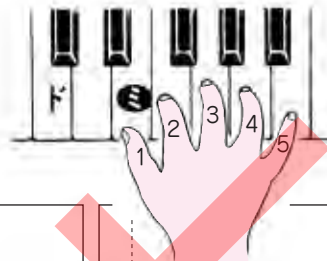
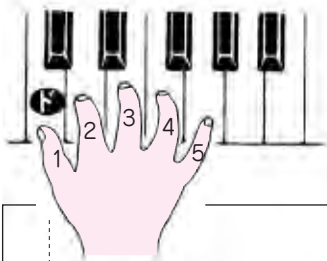
(4)

人が 来る。
来年

() () () () () () () ()

かえる がらしょう

おかもととしあき 岡本敏明 作詞/ドイツ民謡



じゆうな はやさで

1 2 3 4 3 2 1 | 1 2 3 4 3 2 1

()

1

クワツ クワツ クワツ クワツ ケロケロケロケロ クワツクワツクワツ

日本音楽著作権協会 (出) 許諾第0605528-319号

1 1だん目に あてはまる かしを () に 書いて うたいましょう。

2 ドレミで うたいましょう。

3 けんぱんハーモニカで、下の 3つの ことに 気をつけながら えんそうしましょう。できたら に ◎を書きましょう。

(1) とちゅうで とまらずに さいごまで ひくことができた。

(2) ゆびの いどうが 正しく できた。

(3) ~の お休み () に 気をつけて ひくことができた。

かん字の書き方

よう日

一 つぎの かん字の 画数を 数字で 書 きましょう。

(1) 声 () 画

(2) 国 () 画

(3) 外 () 画

(4) 書 () 画

(5) 画 () 画

(6) 黄 () 画

(7) 高 () 画

(8) 場 () 画

(9) 組 () 画

(10) 親 () 画

二 ふとい 線の ところは 何画目に 書く でしょう。() に 数字を 書きましょう。

(1) 友 () 画目

(2) 丸 () 画目

(3) 毛 () 画目

(4) 回 () 画目

(5) 点 () 画目

(6) 計 () 画目

(7) 何 () 画目

(8) 方 () 画目

(9) 上 () 画目

(10) 門 () 画目



せわをしよう

みなさんが 家や 学校で せわを している
生きものや くさ花の ようすを えと 文で
かきましよう。 色も ぬりましよう。



ひっ算のおけいこ 1

1 つぎの ひっ算を しましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 53 \\ + 12 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 21 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 2 \\ + 97 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 35 \\ + 61 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (5) \quad 74 \\ - 62 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (6) \quad 38 \\ - 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (7) \quad 95 \\ - 50 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (8) \quad 42 \\ - 22 \\ \hline \end{array}$$

2 なつこさんは おはじきゲームで、さいしょに 32点、つぎに 46点 とりました。

あわせて なん点 とったでしょう。

(しき)

ひっ算



こたえ

かん字をさがして



よう日

日

月

一 むきを あらわす ことばを **かん字**で

書きましよう。

う え した み ぎ ひ だ り

二 よう日を あらわす **かん字**を 書きま

しよう。

よう日	よう日	よう日
よう日	よう日	よう日
		よう日

三 教科を **かん字**で 書きましよう。

こくご さんすう

(1)	
(2)	

おん せい かつ

(3)	
(4)	

がく

四 □の中の **かん字**の いちぶを つか

つて **かん字**を 書きましよう。

(1)	
(2)	

(3)	
(4)	

(5)	
(6)	

ことばの広場

よう日

一 (一) にあう ことばを

えらんで 書きましたよう。

手ぶくろ げた ゆかた ぼうし から

月 日

(1) (一) を かぶる。

(2) (一) を きる。

(3) (一) を はく。

(4) (一) を はめる。

二 上の ことばと 下の ことばを 線で

むすびましょう。

(1) ほうちよう ・ ほる

(2) シヤベル ・ くむ

(3) かなづち ・ たたく

(4) バケツ ・ むく

三 つぎの 文に あう ことばを、○で かこみましょう。

(1) さかなが { すいすい ひらひら } およぐ。

(2) 風車が { くるくる そよそよ } まわる。

(3) 川の水が { つるつる さらさら } とながれる。

四 正しい ほうを ○で かこみましょう。

(1) 雨が { ざあざあ ザーザー } ふる。

(2) ほしが { きらきら キラキラ } ひかっている。

月 日 よう日

えにっきをかこう

出かけた ことや 友だちと あそん
だ ことの中^たで 楽しかった ことを
思い出して かきましよう。

だ い

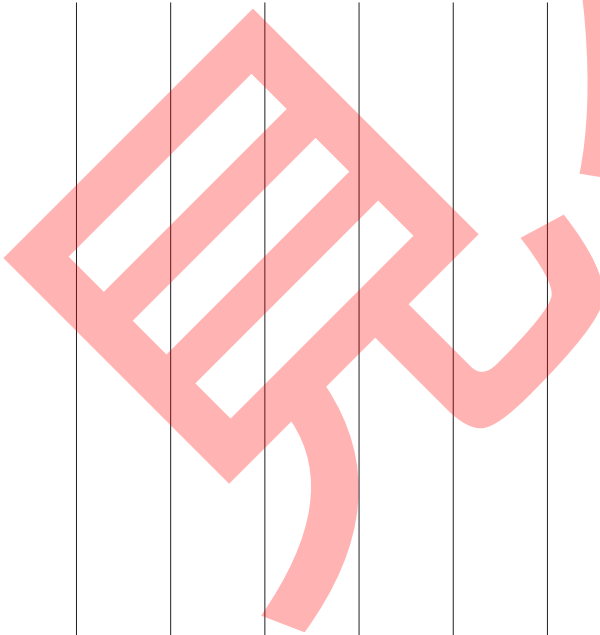
月

日

よう日

天気 (

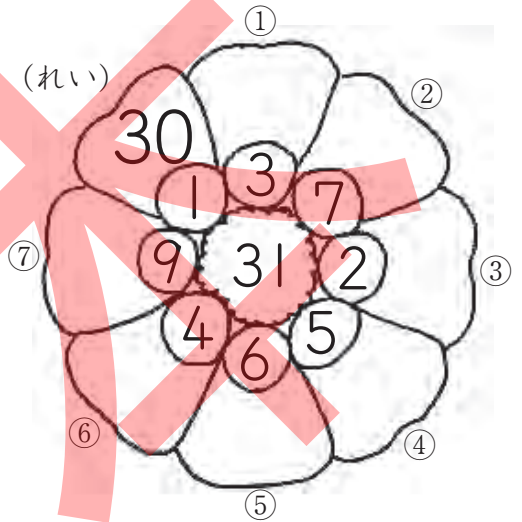
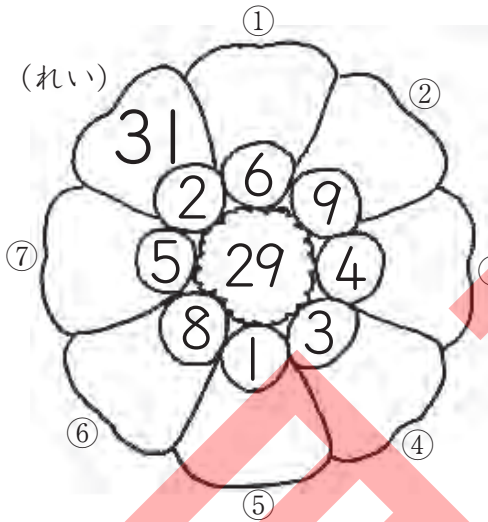
)



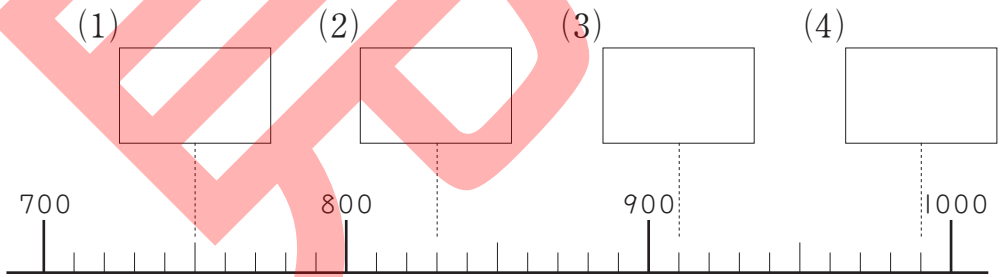
数はいくつ



1 つぎの 計算を しましょう。

- (1) まん中の 数に 外がわの 数を たしましょう。
 (2) まん中の 数から 外がわの 数を ひきましょう。



2 に あたる 数は なんでしょう。




3 つぎの ひっ算で、 で かかれて いる 数字を  の 中に 書きましょう。

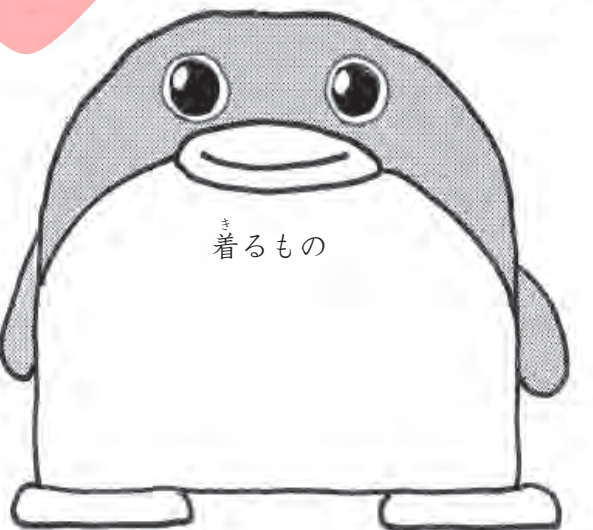
$$\begin{array}{r} (1) \quad 3 \quad 2 \\ + \quad \text{cloud} \quad 4 \\ \hline 7 \quad 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 5 \quad 4 \\ + \quad 2 \quad \text{cloud} \\ \hline 8 \quad 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad \text{cloud} \quad 3 \\ - \quad 4 \quad 5 \\ \hline 2 \quad 8 \end{array}$$

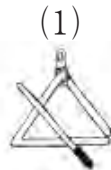
なつをすずしく

まだまだ あつい 日が つづきますね。あつい なつを す
ごし やすく くらす ために、みなさんの まわりでは どん
なくふうを して いますか。見つけて、ペンギン  の 中
に えや ことばで かいて みましょう。





一つぎの えは、すべて がつきです。
 がつきの 名前を かたかなで 書きま
 しょう。









二 えの かき方を せつめい します。()
 の 中 に 入る ことばを の 中 から
 えらび、 に えも かきましよう。

(1) ねこの かおの えを かきます。

(1) ()、かおの かたちを か
 きます。大きな 丸を かきます。

(2) ()、耳を かきます。丸の
 上の方の 右はしと 左はしに、小さな
 三かくを かきます。

(3) ()、はなと ひげを かき
 ます。丸の まん中に、小さな 三かくを
 下むきに かきます。三かくの 右と 左
 に 三本の よこの 線を かきます。

(4) ()、目を かきます。小さ
 な 三かくの 上 に 黒い 丸を 二つ
 ならべて かきます。これで、できあがり
 です。

それから さいごに
 はじめに かし
 つぎに また

〈ねこのかお〉

なつがおいしい

なつには いろいろな やさいが できます。

なつに できる やさいを たべると からだを ひやしたり からだを 元気に してくれたり します。

下の やさいは、なつに できる やさいです。

なつ休みに たべた やさいや、そだてた ことのある やさいに 色を ぬりましょう。



ジャンプガエル

ようい
するもの

かみ 紙コップ2こ・画用紙・わゴム2本
はさみ・セロハンテープ・カラーペン・のり

- ① 紙コップのふちに4かしょちいきなきりこみをいれる。 ② わゴム2本をこうさするようにきりこみにかける。



- ③ 画用紙で目や耳などのパーツをつくり紙コップにはる。



- ④ もう1この紙コップにもえをかいたりパーツをはったりする。



ひっ算のおけいこ2

1 つぎの ひっ算を しましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 18 \\ + 17 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 47 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 80 \\ - 45 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 71 \\ - 3 \\ \hline \end{array}$$

2 ほのかさんと さつきさん (とんだ 回数)
が なわとびを しました。

ほのか	37回
さつき	56回



(1) あわせて なん回 (2) どちらが なん回
とんだでしょう。 多く とんだでしょう。

(しき) (しき)

ひっ算

こたえ

 回

ひっ算

こたえ

さんが

回多く とんだ。

かっこう

かっこう

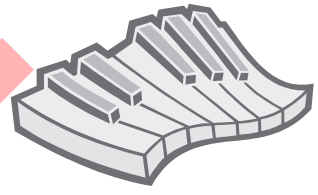
♩ = 1 1 2 ~ 1 2 0 こけしなまはら 小林純一 作詞/ドイツ民謡/浦田健次郎 編曲

1・2 かっ こう かっ こう し ず か に

{ よ ん で る よ き り の な か
 { な い て る よ も り の な か

5 3 4 2 1
 (ソ) (ミ) (ファ) (レ) (ド)

ほう ら ほう ら か あ さ ん
 ほう ら ほう ら あ さ だ よ



日本音楽著作権協会 (出) 許諾第0605528-319号

1 下のリズムを 手で うちながら うたいましょう。じょうずに
 できる ように なったら、おうちの 人に きいて もらいましょう。

1ばん (くりかえす)

2ばん (くりかえす)

サイン

2 ゆびづかいに 気をつけて、けんばんハーモニカで えんそうして
 みましょう。

しろ 白い矢

日
よ
う
日
むかし むかし、名古屋の 東のあたりは、
おかが ずっと つづく、しずかな 村だった。
村人は 小さな 池を つくり、水を 大切に
して くらしていた。

日
ある年、田うえを して、もう 十日にも な
るのに、雨は ひとつぶも ふらなかつた。
二十日 たつても、だめだった。

月
イネは かれはじめ、イモの なえは 黄色く
なつた。

村人たちは、前の ききんの ことを 思い出
した。食べるものと いえば、木の ねっこしか
なかつた。

村人たちは、おかの 上に あつまつて、天の
かみさまに 雨を ふらせてほしいと、おいのり

を はじめた。

三十日 たつても、雨は ふらなかつた。

とうとう 池の 水は、からからに なつてし
まった。

ちようど その時、みやこの 竹内宿禰とい
う 村人が、大ぜいの 家来を つれて、お通りに
なつた。

「これは 気のどくな ことじゃ。なんとかして
やりたいが……。そうじゃ、よい ものが あ
る。」

と 言つて、一本の 白い 矢を お出しに
なつた。

「めずらしい 白い タカの 羽根で 作つた、
大切な 矢じゃ。これを さづけよう。この矢
を、地めん に まつすぐ 立てて おいのりす
れば、これから 水に こまる ことはない
だろう。」

村人は、さっそく 白い 矢を 地めん^{じめん}に 立^た

てて、まわりに あつまり、おいのりを はじめた。

白い 矢が ピクツと うごいた。

矢の まわりの 土が、黒く しめ^{くろ}って^{しめ}きた。

よう日 みるみるうちに、矢の まわりに、小さい 水た

まりが できた。

「み、み、水だ。水だぞう。」

日 矢の まわりから、こんこんと 水が わきだ

した。みんなは、かたを たたき合^あって よろこ

んだ。

月 水は ひとすじの ながれに なって、はたけ

や 田んぼの 方へ すすんでいく。

村人は、ながれに つれて 走りだした。なが

れの 中を 走る ものも いる。ながれの 中

で、はねる ものも いる。

「おうい。おれの はたけに、水が 来たぞ。」

「うちの 田んぼにも、水が 入ったあ。」

「おとう、うれしいなあ。」

「おかあ、ありがたいのう。」

村人たちは おどりだした。おいおい なきな

がら、おどっている ものも いる。

宿禰は これを 見ると、だまって 立ちさら

れた。村人は、おれいを 言うのも わすれていた。

日が、西の 空に しずみかけた。

おかの 上の 白い 矢が、金色に 光ってい

た。

※「ききん」：米や野菜が十分にとれず、食^たべることができずに 苦しむこと。

（「おはなし あいちのでんせつ」2

愛知県教育振興会より）

読みましたサイン



算数パズル

書かれている しきや 答えが 正しい マスを, すきな 色でぬろう。正しく ぬると, 数字が うかび上がって くるよ。

$8\text{ cm} - 2\text{ cm} = 6\text{ mm}$	$231 > 213$	100を 4こ あつめた 数を 四百と いう	$63 - 6 = 57$	$\begin{array}{r} 68 \\ + 14 \\ \hline 72 \end{array}$
$\begin{array}{r} 35 \\ - 8 \\ \hline 17 \end{array}$	10を 36こ あつめた 数は 360	$64 + 27 = 81$	9時15分の 30分前の 時こくは 8時45分	$7\text{ cm } 8\text{ mm} - 2\text{ cm} = 7\text{ cm } 6\text{ mm}$
$92 - 65 = 37$	1時間 = 60分	$30\text{ mm} = 3\text{ cm}$	$45 + 38 = 83$	100の よこの 長さは 182cm
はがきの よこの 長さは 10m	$\begin{array}{r} 25 \\ + 67 \\ \hline 82 \end{array}$	$349 > 356$	100を 7こ 10を 2こ 1を 5こ あつめた 数は 725	百十二を 数字で 書くと 102
1000は 10を 10こ あつめた 数	7時25分の 1時間あとの 時こくは 8時25分	$100\text{ cm} = 1\text{ m}$	$35 + 19 = 54$	$\begin{array}{r} 60 \\ - 53 \\ \hline 13 \end{array}$

うかび 上がった 数字 ()



かぶとむし

よう日

カブトムシは、コガネムシのなかまで、日本に※いる※こう虫ちゅうの中ちゅうでは、一ばんからだの大きなしゅるいです。オスには、大きなつのがあり、からだぜんたいは(1)こい茶色ちやで、よろいのようなかたい(1)ひふと(1)前羽はねにつつまれて(1)います。

日

クヌギ林ばやしやコナラ林ばやしがカブトムシの生活せいかつの場(2)しよです。なつ(2)のよる、せいちゅうはじゅえきを(2)もとめてとんで(2)きます。クヌギやコナラのじゅえき(2)がないと、カブトムシのせいちゅうは、生きていけません。

月

じゅえきには、なんびきものせいちゅうがあつまるので、ときどき二ひきが(3)じゅえきをとりあい、じまんのつのでたたかうことがあります。



※こう虫ちゅう：「よろいをきた虫」といういみです。こう虫ちゅうのからだは、かたいひふでおおわれていてがんじょうです。

一 (1)と(2)の かん字の 読みを 書きましよう。

(1) 前羽はね (2) 場しよ

二 カブトムシは、何の虫の なかまでですか。

三 カブトムシの からだは 何の ようですか。

四 カブトムシの せいちゅうは、じゅえきがないと どうなりますか。

五 カブトムシの オスは、(3)の とき、何を つかって たたかいますか。

よう日

日

月

★ なつ休みの はじめに きめた、生活の

めあてを ふりかえって みましよう。

よく まもれた
だいたい まもれた
まもれなかった



• 学しゆう

• 生活

★ きそく正しい 生活は できましたか。

• 早おき

• 早ね

• べんきよう

• お手つだい

Four empty boxes for writing, corresponding to the items listed on the left.

あすから学校



いよいよ あすから 学校が はじまりま
す。どきどき わくわくする ことが たく
さん まっています。楽しみですね。
しっかりと がんばりましょう。

★ つくえの まわりを せいとんして、教
科書・ノート・えんぴつなど、学校で つ
かう ようぐを そろえて おきましょう。
★ あす、学校へ もって いく ものを
そろえて おきましょう。
★ 今日は、早く ねむって、あすは 元氣
に 学校へ 行きましょう。

わたしのわらわらや

豊橋 とよはし

吉田方小・2 よしだがた

かとう なな

「もう、わしだめた。」

「もう、わししぬで。」

おじいちゃんの口ぐせ

目をぐっと大きくひらいて

少しこわいくらいしんけんな顔で

わたしに会うたびに

言うせりふ

本気でどきどき

はじめは心ばいしたよ

でももう五年くらいかな

毎回毎回聞いているから

もうスルー

おじいちゃんは

だいじょうぶ

いつも元気ぴんぴん



おじいちゃんはテレビが大すき

ふと見ると テレビの前まえにいる

耳みみがずきずき

いたくなるぐらいのボリュームで

ニュースやテレビショッピング

すもう

わたしが見ない番組ばかり

何時間なんじかんも何時間なんじかんも見ている

そんなにおもしろいのか

おじいちゃんは

すごいしゅう中力ちゅうりき

おじいちゃんをよくまちがえる

「おい、みさ。」

「みさじゃないよ。ななだよ。」

おじいちゃんは太わらい

ぜんぜんママと大きさがちがうのに

むかしのママにしているのかなあ

わたしの名前なまえをわすれちゃうのかな

かなしいな

でもママにしているのはうれしいな

おじいちゃんはおもしろい

おじいちゃんをはをとり出すことができる

ごはんをいっしょに食べていたら

とつぜん口くちからさつと出てきてびっ

くり

何なにがおきたかわからなかったよ

入ればだったんだね

はみがきしなくていいから

べんりでもいいな

でも、おじいちゃんは言う

「はをみがかんとこうなるでいか

ん。うまく話はなせんよ。食べれんよ。」

これからははみがき

めんどうくさがらずにやるよ

おじいちゃんが教えてくれたからね

おじいちゃんはいったい何なんさいだろう

気きになってそつと聞いてみた

「九十何きゅうじゅうなんだったかな。わからんだな

あ。」

びっくり

わからなくなるくらい

長く長く生きているんだね

おじいちゃんは すごいな

百ひゃくさいめぎして

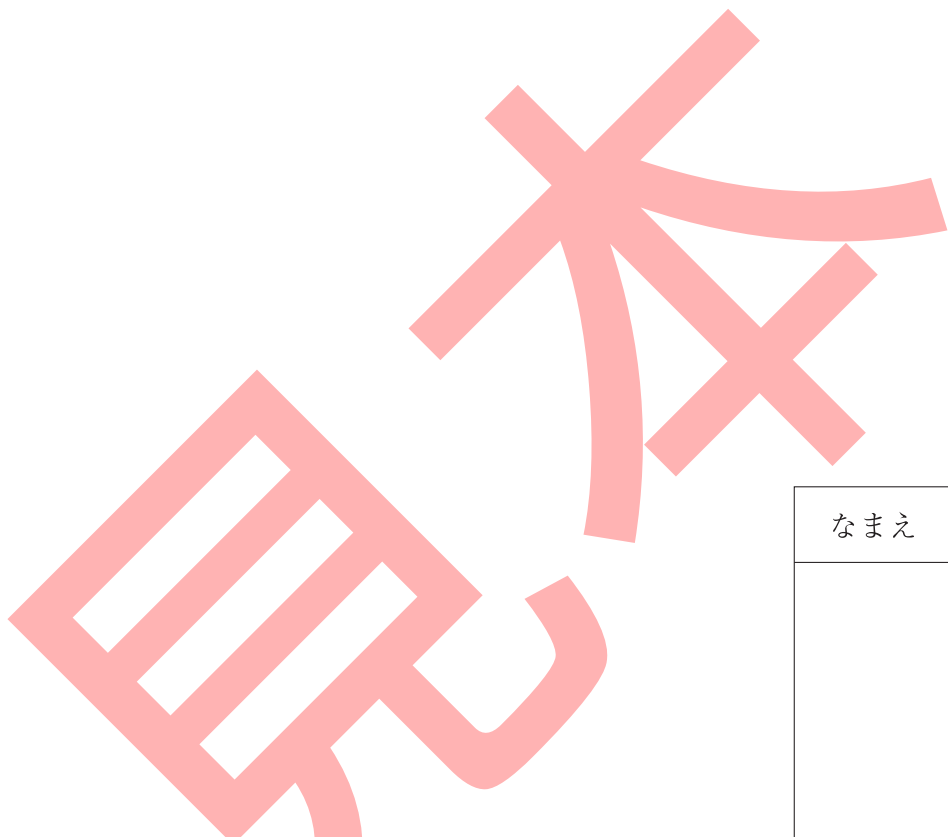
これからも これからも

長なが生きしてね

これからも これからも

わたしはおじいちゃんに

会あいにいくよ



なまえ

令和6年度版 なつ休み 2年

編集 「夏休み日誌」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人
愛知教育文化振興会
〒444-0868
岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 (0564)51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。